



今月のテーマ
新年のご挨拶

TEL:0243-22-6688

予防接種専用の時間
毎週水曜日を除く午後1:30~2:00
1月17日(土曜日)は医師会の総会の
ため、2時30分までで診療終了します。

あけましておめでとうございます
お正月、いかがお過ごしでしょうか
今年もよろしくお願ひ致します。
お正月早々暗い話になってしま
いますが、昨年来医療を取り巻く情
勢は、皆様にとっても、我々医療機
関にとっても厳しくなる一方です。保険財
政の破綻がその引き金になってい
ますが、破綻するべくして破綻したといえる現行の社
会保険制度が根本的に改善され
ない限り、この問題は解決され
ません。問題の先送りのな表面
上の改革におわらないことを望
みたいと思います。

ところで、昨年暮れのポケモン騒動ですが
幸い福島県は放送内容が遅れていたよう
で被害に遭われた方はごく一部の東京圏の
テレビを見ていた方だけだったよう
です。マスコミなどの報道です
で「生存」の方も多いかと思
いますが、この問題に関する情
報を簡単に「ラム欄」で紹介
致します。放送する側でも今
まで以上に気を付けると思
いますが、いつ皆さんの子供
さんがそのようなトラブルに
巻き込まれないとも限りませ
んので、是非一読をおすすめ
致します。また、香港で発生
した新型インフルエンザも患
者さんの数が増えて来てお
り、一部の報道では新春にも
日本に上陸、もし上陸すれば
3000万人が罹患し、3万人
が死亡するのではないか
とか。しかしこれは公式の見
解ではありません。しかし、
ワクチンの供給には最低
4ヶ月が必要といわれてお
り、この先香港で感染者が

増え、ヒトからヒトへの感染
が証明されると一気に危
機感が高まります。この新
種のウイルスの型はH5N1
で、今まで日本では確認さ
れていません。当然だれも
していません。免疫を持って
いる人は少ないわけではな
い。参考までに厚生省の
発表しているこの新型イン
フルエンザに関するQ&Aの一
部を「ラム欄」に掲載しま
す。インフルエンザの予防に
関して一般的にいわれている
注意点は、過労や睡眠不足
をさける。十分な栄養と休
養をとる。うがい、手洗いを
励行する。人混みをさける。
マスクを着用する。といった
事ですが、これも決定的な対
策とは言えませんが、気は

心、励行したいものだと思
います。この他、インフル
エンザウイルスは一般的に
湿度を嫌いますので、十分
な加湿が効果的です。マ
スコミの報道は、この厚
生省の発表などを元に
している訳ですが、記事
の書き方により、受け
取る側に違った印象を
与える可能性があります。
最近インターネットにより
簡単に誰でも厚生省の
発表のものを見ることが
できますので、是非ご自
身で、実際の発表内容
を確認する事をおすす
め致します。情報社会
の中でいきる我々は、
情報に踊らされること
なく、それをうまく活
用していくことが大切
です。なお、この厚生
省の情報は12月23日
にアクセスして得られ
たものです。その後更
新されている可能性がある
ことをお断り致します。

このころ、えつと驚くような
ニュースばかり慣れつこ
な暗いニュースが少
ない年であつてほしい
と思います。

Q & A 香港で見つかった新型インフルエンザ(H5N1) 抜粋

- Q1: これまで、何人の患者からこの新型インフルエンザウイルスが見つかっているのでしょうか?
A1: 12月19日現在で、8名がH5確定、2名が検査中です。
- Q2: このウイルスは世界中に大流行するのでしょうか?
A2: 新型インフルエンザに対して、ヒトは全く防御のための抗体を持たないため世界中で大流行が起きる可能性があります。しかし、これまでのところごく少数の発生にとどまっています。
- Q4: この新型インフルエンザはどのような症状を起こすのか?
A4: 現時点では8例しか発症事例が確認されておらず、その危険性や症状について結論を出すことは困難です。
- Q6: 今冬のワクチン接種は?
A6: 厚生省では国立感染症研究所に依頼して毎冬の流行予測を行い、それに基づいてワクチンを製造しています。今年A香港型、Aソ連型及びB型を2種類入れたワクチンが製造されています。インフルエンザの予防はワクチンが基本です。高齢者や基礎疾患を有する方には、医師に相談のうえワクチン接種をお勧めします。
- Q7: 今冬のワクチンは新型インフルエンザにも有効ですか?
A7: インフルエンザワクチンはウイルスの型が一致してはじめて効果があります。今年のワクチンには新型インフルエンザに対するワクチンが入っていないため、これを接種しても効果はありません。新型インフルエンザの予防には新型インフルエンザのワクチンを接種する必要があります。
- Q8: 新型インフルエンザのワクチン製造は開始していないのか?
A8: 現在新型インフルエンザウイルスのヒト-ヒト感染は確認されておりません。このため引き続き流行の可能性を調査し、監視を行うとともに、新型インフルエンザワクチンを製造するためのウイルスの分析を開始するなど新型インフルエンザワクチン製造に向けて準備を進めているところです。
- Q10: 鶏肉を食べた場合、インフルエンザに感染することはありますか?
A10: 食品を食べることにより、インフルエンザウイルスがヒトに感染することは世界的にも報告されておらず、一般的には考えられません。また、鶏肉を処理する過程で、塩素剤を使用しております。これによりたとえ、インフルエンザウイルスが鶏肉に付着していたとしても不活性化します。さらに、実際に食べる場合には、加熱すればインフルエンザウイルスは死滅しますので、鶏肉を食べることによりインフルエンザに感染するとは考えられません(注: 卵についても同じ内容の答えです)。
- Q12: 香港へ観光旅行へ行っても問題ありませんか?
A12: 現段階では、新型インフルエンザの感染は小規模であり、世界保健機関(WHO)は渡航自粛の必要はないとしています(後半略)。

テレビ番組視聴による健康被害への対応について(厚生省)

今回発生した事例について、詳細は調査してみなければ不明であるが、次のようなものが考えられる。1) 光感受性発作の場合: 光感受性発作は、画面のちらつき、図形の変化、反復する閃光などの刺激によって誘発される発作であり、全身のけいれん発作などの症状を呈するものである。2) その他の場合: 閃光刺激、素速く動く色模様、強烈な図形反転などのスクリーン映像を長時間にわたって凝視していると、眩暈、嘔気、冷汗、動悸などの徴候を自覚する事がある。これらの徴候・症状は急に起始し、数分の間に消退するものであれば、必ずしもてんかん発作ではない。

「参考」 光感受性発作について
概要: 1970年にテレビ視聴中に発作を起こす患者が増加しているという報告が紹介されたのを契機として、1981年にはテレビゲームによって誘発された可能性のある発作症例が散発的に英米の医学誌に報告されるようになった。我が国においては、1987年にてんかん学会において発作症例が報告されている。閃光や光の点滅で発作が起こるものを光感受性発作と呼び、発作誘因として画面のちらつき、図形の変化といった光の感受性の異常、図画面上の物体を追う眼球の動きなどが考えられている。閃光刺激周波数は、15ないし20ヘルツにある。刺激から発作までの潜伏時間は短く、スクリーン注視後にまもなく発作が起こることが多い。発生頻度: 4000人に1人の割合とされる。女性で多く、幼児、学童期が好発年齢とされる。診断: 脳波検査が不可欠であり、反復閃光刺激などの手段によって脳波上光感受性発作をとらえることが必要である。予防手段: テレビ画面から十分な距離をとる、部屋を明るくするなどの方法がある。治療: 発作を繰り返すような場合には、抗てんかん薬の服用が必要となる。予後: 良好なことが多く、日常生活上の注意を守り、定期的な脳波検査を施行することで、再発を予防することができる。

